

授業科目名称 : キャリア開発Ⅱ

授業コード : 12009

授業科目英文名称 : Career Development Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	必修
担当教員			
落合 和昭 (実務経験のある教員)、 裊 孝承			
展開方法	講義・演習		
ナンバリング	BA311		
添付ファイル			

ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標	評価手段・方法	評価比率
専門力			
情報収集、分析力	情報収集、分析力 授業で得た気づき、情報等を基に、自分自身の現状を踏まえて将来設計に落とし込むことができる。	・毎週の授業レポート ・課題レポート	10% 20%
コミュニケーション力	自分の感じた事、考えを自分の言葉で分かり易く説明し、文章で表現することができる。	・毎週の授業レポート ・課題レポート ・授業参画度	10% 10% 10%
協働・課題解決力	・自分自身のライフプランを意識し、目的に向かって積極的に行動を起こすことができる。 ・希望就職先を具体化し、明確な目標意識を持って就職活動に邁進することができる。	・毎週の授業レポート ・課題レポート	20% 20%
多様性理解力			
出席		受験要件	
合計		100%	

授業のねらい	2年間の大学生活の中で培ってきた自分自身による「自分磨き」を踏まえ、大学卒業以降の自分のライフキャリア形成上の大きな関門となる就職に備え、就活に必要な実技・知識の習得や、必要なシミュレーション等を実践する事で、希望に沿った就職活動を行う事が出来る様になる事を目標とする。				
アクティブラーニングの種類	① ② ⑩				
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	毎週のリフレクションカードへの記入による定期レポートを提出し40%評価する。毎回必ず自分自身の気づき、気づきの行動への転換、行動の継続の実践状況を確認してほしい。課題レポートは現在時点での自分自身の人生設計を踏まえ、課題に関して①自分の感じたことや考えを、②自分の言葉で分かり易く説明できているか否かで50%評価する。その他授業への参画等を10%評価とし、総合的に評価する。課題レポートのフィードバックは適宜授業時に行う				
授業概要	担当教員の実務経験や知見に基づく実務的な講義や、外部講師、キャリアセンター職員がテーマに即した授業形式（講義形式、グループワーク、演習形式等）で行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。				
教科書・参考書・指定図書	教科書/参考書：特に定めない。必要資料は授業時に適宜配布する。 指定図書：『君たちはどう生きるか』 吉野源三郎著 岩波文庫				
授業外における学修及び学生に期待すること	自分自身の一生をどのように過ごすのかを考えることは人類永遠の課題である。足元では社会人として、地域の善良な一市民として、求められる素養・教養を身に付けて大学を巣立って行く事を、自分自身の人生の中でどう位置付けるかという事を常に意識しつつ、残りの大学生活を送ってほしい。その中で就職は当面する自分自身の人生におけるキャリアパスの一つであるという意識を持って授業に臨んでもらいたい。				
授業計画	回	テーマ	授業の内容	予習・復習	担当教員
	1	オリエンテーション (自身のライフプラン構築と就職活動に向けて)・情報の収集Ⅰ (マイナビの登録と活用)	授業への導入、この授業が目指すポイント、当年度就職活動の一般的なスケジュール解説、キャリアセンター利用方法等について学ぶ。インターンシップの情報収集ツールである、『マイナビ2027』の登録、活用方法について学ぶ	予：シラバスを読み込む マイナビの利用を考える 復：自身のライフプランの再確認	落合・裊
	2	情報の収集Ⅱ (リクナビ・Nナビの登録と活用)	情報収集の方法理解を深める。リクナビ・Nナビの登録・活用方法について学ぶ (実務家ゲストスピーカーによる講義)	予：リクナビ・Nナビの利用を考える 復：WEBでの情報収集方法を再確認	落合・裊・ゲストスピーカー

3	社会人としての体験Ⅰ（インターンシップ&キャリア）	長崎県未来人材課のなかで行われているインターンシップについて情報を収集し、今後の就職活動に備える。（長崎県未来人材課講義）	予：インターンシップの参加について考える 復：実際に参加したいインターンシップを探し始める	落合・裴・ゲストスピーカー
4	社会人としての体験Ⅱ（インターンシップ&キャリア）（学科分離）	就職活動における企業・業界研究の一環であるインターンシップ等において、規定の詳細・企業の探し方等の基礎知識を学ぶ。また、先輩の体験談動画を見てインターンシップ等に対する不安を解消する。（外部講師）	予：インターンシップの参加について考える 復：実際に参加したいインターンシップを探し始める	落合・裴・ゲストスピーカー
5	自己表現Ⅰ（自己分析・履歴書/エントリーシートの書き方）	就職活動や進路を考える前に、「自身はどんなことをやってみたいか?」「自身の強み・特徴は何か?」を考え、就職活動における「仮の軸」をイメージする。（外部講師）	予：過去にあった出来事を思い出しておく 復：自分史作成をする	落合・裴・ゲストスピーカー
6	自己表現Ⅱ（自己分析・履歴書/エントリーシートの書き方）	インターンシップ参加において、履歴書やエントリーシート提出が必要な場合がある。文章作成の基本・エントリーシートのよくある質問項目における回答の書き方を学ぶ。（外部講師）	予：過去にあった出来事を思い出しておく 復：自己PRの文章を作り始める	落合・裴・ゲストスピーカー
7	相手を知る（企業研究）（学科分離）	自分に合う企業とはどんな企業か?を考える際に必要な「企業研究」の方法を学ぶ。（外部講師）	予：興味のある企業や業界を考える 復：具体的に興味のある企業を探し、比較をする	落合・裴・ゲストスピーカー
8	キャリア開発に必要な能力（NIUドリルの活用）	NIUドリルを活用し、社会人として求められる基礎能力について考え、SPI（基礎能力）検査を実践して基礎能力の向上を図る。（外部講師）	SPI（基礎能力）について調べ、問題演習を行う。	落合・裴・ゲストスピーカー
9	キャリア開発の基礎（労働法に関するワークルール）	働くことに必要なルールについて労働局より説明頂き『労働法』を学ぶ。（長崎労働局長講義）	ワークルールの基本知識を学ぶ。	落合・裴・ゲストスピーカー
10	キャリア開発の礼儀（ビジネスマナー）	インターンシップや企業訪問、ビジネスの場面での実践的なマナーを身につける。（外部講師）	就職活動に必要なマナーを身につける。	落合・裴・ゲストスピーカー
11	先輩の話を聴く	社会人となった先輩の就活行動と、今何をしておくべきかのアドバイスを確認する。（外部講師）	先輩の体験談を自分の中にどのように取り込むかを考える。	落合・裴・ゲストスピーカー
12	働くイメージⅠ（学科分離）	自分が希望する業界を考え、いずれかの講義に参加する。	観光：社会人基礎力を計測し、それに対する対応を計画する。 福祉：講義内容について、自分なりのレポートを作成する。	落合・裴・ゲストスピーカー
13	働くイメージⅡ（学科分離）	観光：マイナビ2027イベントに一つ以上参加する（レポート有り）。 福祉：業界の現役社会人から就職活動や社会人として必要な事柄を学ぶ。（外部講師）	各業界への具体的な関心を高め就活に備える。	落合・裴・ゲストスピーカー
14	①観光スタートアップセミナー ②福祉スタートアップセミナー（学科分離）	①または②に参加することで、企業の話に対面で聴くことにより、社会人として必要な事柄を学ぶ。（日程変更の可能性有り）	参加企業と面談し今後の進路を考える。	落合・裴・ゲストスピーカーまたは合説参加施設
15	キャリア開発Ⅱ振り返り（学科分離）	キャリア開発Ⅱの授業振り返り（担当教員）	全般的な授業評定	落合・裴